

米国経済・株式市場情報

# ページブックが示唆する米国経済

## 米国景気は緩やかに拡大しているものの、一部地域の農業が低迷

- ▶ FRBが公表した米地区連銀経済報告は、米景気が緩やかに成長していることを示唆。
- ▶ 経済状況が良好な地域の連銀総裁は10月FOMCで決定した利下げには懐疑的。
- ▶ 米大統領選に影響を及ぼすスイングステートの一部を管轄するシカゴ連銀から農業は低迷しているとの報告。米中貿易協議の進展状況によってはFOMCの投票者に影響を及ぼす可能性も。

12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を前にFRB（米連邦準備制度理事会）より米地区連銀経済報告(以下、「ページブック」)が公表されました【図表1】。ページブックはFOMCにおいて各理事の政策判断に影響を及ぼす材料となることから注目している人が多いと言われています。

### ～ 足元の米景気は総じて堅調 ～

- 今回のページブックでは、米国全体では緩やかなペースで成長が拡大しており、来年にかけて現在のペースの成長が継続するとの見通しが示されました。また、FRBの二大責務である「雇用の最大化」と「物価の安定」についても、雇用は緩やかに伸びていること【図表2】、物価は安定した推移となっていることが報告されています。12月10～11日に開催される次回のFOMCにおいて市場が予想している政策金利の据え置きを後押しするような内容となっているものと思われる。

### ～ 経済が好調な地域の連銀総裁は利下げに反対 ～

- 今回のページブックでは、いずれの連銀においても全般的に経済状況は良好であると報告されています。中でも、ボストン地区・アトランタ地区の経済状況が特によいことが示唆されています。前回10月のFOMCでは、賛成8名、反対2名で0.25%の利下げが決定されました。反対票を投じた2名のうち1名はボストン連銀総裁であり、管轄する地域の良好な経済状況を鑑みて、これ以上の利下げは不要と判断したものと思われる。また、投票権を持たないものの、管轄する地域の経済状況が良好であったアトランタ連銀総裁も、投票権があれば反対していたと発言しています。

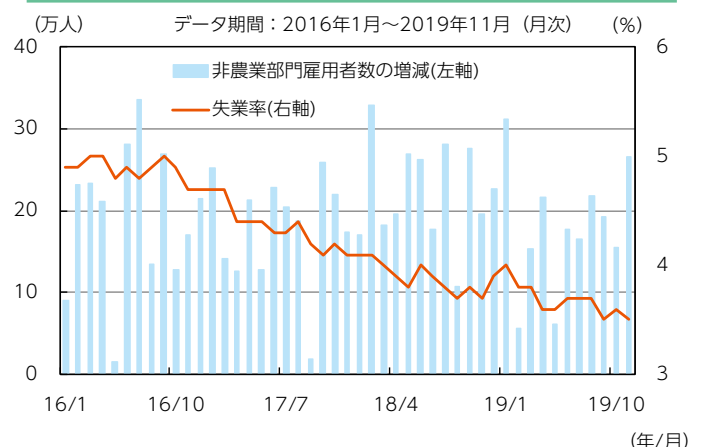
### ～ スイングステートであるシカゴ地区の農業が低迷中～

- 一方、トランプ米大統領の再選のカギを握ると言われているスイングステート（激戦州：両党支持率が拮抗し、選挙毎に勝利政党が変動する州）の一つであるアイオワ州等を管轄するシカゴ連銀の報告では、全般的な経済状況はやや改善方向であるものの、農業に関しては悪化が目立つ内容となっています。とうもろこしや大豆生産量が一年前から減少していること、価格下落が進行していることや農家の収入が減少していること等が報告されています。米中貿易協議において、

図表1：各地区連銀の経済報告概要

連銀名	経済成長	雇用	インフレ
ボストン	緩やかに成長	引き締まっている	堅調
ニューヨーク	横這い	ほぼ横這い	緩やかに上昇
フィラデルフィア	緩やかに成長	引き締まっている	落ち着いた
クリーブランド	緩やかに成長	やや改善	緩やかに上昇
リッチモンド	緩やかに成長	引き締まっている	落ち着いた
アトランタ	緩やかに成長	引き締まっている	上昇している
シカゴ	やや改善	やや改善	やや上昇
セントルイス	ほぼ横這い	引き締まっている	やや上昇
ミネアポリス	緩やかに成長	緩やかに成長	落ち着いた
カンザスシティ	横這い	堅調	緩やかに上昇
グラス	緩やかに成長	緩やかに成長	緩やかに上昇
サンフランシスコ	緩やかに成長	引き締まっている	まちまち

図表2：米国失業率・非農業部門雇用者数の推移



農業は主要なテーマであり、農業に関する交渉が難航し、農業の悪影響が景気全体に波及する場合には、シカゴ連銀総裁だけではなく、他の投票者の投票行動に影響を及ぼす可能性も考えられます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>